

自主放送番組の内容について

ニュースや企画番組、学校番組等の制作において地域や学校、集落支援員、地域おこし協力隊、南丹市、京都府など各組織と連携し、情報収集及び取材にあたっています。特に今年度は、開局25周年を迎える節目の年であり、視聴者満足度を高められるような企画や喜び、楽しみ、活力を与えられる魅力ある番組の充実に努めています。

【ニュース番組】

ニュース番組は、南丹市情報センターの番組編成の中で柱となる番組であり、多くの視聴者にもご覧いただいています。取材した内容を少しでも早く視聴者に届けること、ニュースをより深く取材すること、内容を充実したものにすることをテーマに、週2回のニュース番組(水曜日、土曜日の2回更新)を放送して2年目となりました。内容の掘り下げや丁寧な取材、インタビューなどを盛り込んだ番組の充実に図り、市民から「見やすくなった」「おもしろくなった」との声を聞くようになりました。

ニュースの紹介本数も大幅に増え、また特集では、地域活動・スポーツなどに取り組む個人や団体、伝統芸能、食文化など、「地域」・「ひと」・「暮らし」にスポットをあてた地域密着番組に取り組んでいます。また市民からの投稿(おたより)も増えています。

CMでは、南丹市内の事業所、南丹市を販売エリアとする企業のCM、公共CMなどを放送しています。

□南丹市内や近隣地域のニュース □特集(市民活動や生活に密着した話題・啓発・文化活動・スポーツ活動の紹介・教育活動・環境・産業など地域の取り組み) □生活情報(ゲストによる告知、市役所からのお知らせ等) □じゅういちくん4歳児参観(保育所4歳児とじゅういちくん(キャラクター)のふれあいコーナー・イラスト募集など) □おたより □赤ちゃんお祝い情報

【特集】

各種講演会や演奏会、団体の発表会、文化祭発表会などを全収録し放送しています。

昨年例 □南丹市子どもの主張大会 □河鹿合唱団第70回定期演奏会 □各町文化祭など

【企画番組】

地域の伝統芸能、文化の記録・保存、またテーマを決め掘り下げた企画番組を制作しています。今年度は開局25周年を記念し、過去の番組をリクエスト放送したり(アーカイブズ放送)、地域に残る伝統文化の保存と放送を行います。

昨年例 □南丹市制施行10周年記念講演会 □美山小学校開校記念番組 □第40回全国育樹祭～お手入れ行事・式典行事～ □生酛の誇り 美山蔵杜氏 倉垣時弘 □地域とともにある学校づくり～コミュニティスクール～など。

【生中継番組】

生中継については、南丹市議会定例会本会議（6・9・12・3月）や京都南丹市花火大会（8月）、南丹市成人式（1月）、スポーツ・文化表彰式（2月）のほか、「東京オリンピック・パラリンピックを見据え、スポーツで活躍する市民を紹介すること」をテーマに、小・中学生のスポーツ中継を予定しています。

「生中継への新しい挑戦」を掲げ、中継車を使って、限られた機材や人員の中で準備や工夫を凝らし、参加者や視聴者からも喜んでもらえる臨場感あふれる番組を今後も継続していきたいと思います。

*生中継番組（予定）

- 南丹市議会定例会本会議（6・9・12・3月）
- 京都南丹市花火大会（8月14日）
- 南丹・船井中学校体育連盟新人戦（9月中旬）
- なんたん音楽フェスティバル（11月予定）
- 開局25周年記念 第4回じゅういちくんカップ少年サッカー大会（12月3日予定）*法人主催
- 南丹市成人式（1月7日予定）
- 南丹市スポーツ・文化賞表彰式（2月予定）

【京都府との連携番組】

京都府南丹広域振興局から委託を受けて、番組「とれたて新鮮！森の京都丹波っ！！」（南丹市・亀岡市・京丹波町の話を取材。隔月1回放送 京丹波町でも放送）を制作しています。昨年度から、佛教大学公共政策学科の学生が企画する番組の制作指導を行い、若い視点でのまちおこしをテーマとした番組を制作しています。今年度も引き続き行います。ほかにも、京都府広報番組「京都あかのみー」（KBS京都制作）を再放送しています。

また、京都府メディアネットワークに加盟しています。府内のラジオ、新聞、テレビ各局が広報企画をし、地域創生に関する情報発信を強化しようとするものです。今年度も加盟局として、地域の暮らしをテーマに番組を制作します。

27年度□定住促進大作戦！「地域に住むひとが幸せを感じるむらづくり」 28年度□「京都丹波高原国定公園の魅力～生命の息吹 人びとの暮らし～」

【森の京都】

昨年は、京都府が進める「森の京都」ターゲットイヤーとして、京都丹波高原国定公園に指定された南丹市の、自然や伝統文化、食文化などの魅力を紹介する番組や「全国育樹祭」などを放送しました。今年度も、「京都丹波地域（南丹・亀岡・京丹波）」の地域特性や南丹市各町の魅力を掘り下げ、広く広報できる番組や、地域活動を支援する番組を制作します。

【企画番組 まちかどぶらっトーク！】

キャスターがまちを歩き、地域の宝や人びとの魅力に触れる番組です。「訪ねてほしい」との依頼も寄せられます。

【スクールフェイス】

幼稚園・保育所・小学校・中学校・高校などから投稿された入学式、卒業式、運動会、修学旅行や学習発表会などを編集し、放送しています。

【市民の情報ひろば】

視聴者投稿ビデオにより、地域の伝統行事、レポートの様子等を放送しています。

【南丹市や市管轄機関、福祉事業所などとの連携による番組】

南丹市と南丹市まちづくりデザインセンターが協働で企画制作を行う「協働スイッチON!」、図書の新刊案内や行事案内を広報する「図書館だより」、社会福祉協議会、地域活動支援センター、福祉施設等の広報番組「ふくしの森」、南丹市食生活改善推進員協議会によるレシピ紹介「かんたん！体にいいレシピ」、教育委員会が企画する家庭学習支援番組「なんたんテレビ学舎」、そのほかニュースやお知らせで市役所からのお知らせを放送しています。

【JAトピックス】

JA京都制作の農業関連情報番組。営農情報や活動報告などを放送しています。

【文字放送・TV週報】

公共機関・学校・各種団体等からのお知らせを放送。年々依頼数が増加しています。文字放送枠を使い、市内各企業の年賀広告をしています。

【災害時の対応について】

災害時における職員の対応については、緊急対応項目と災害放送についてマニュアル化しました。平成28年9月20日台風16号対策として、南丹市災害対策本部会議へ出席し、水位状況や被害状況の把握、避難所開設の有無などを確認し、文字放送などで伝えました。また、平成29年1月15日からの大雪対策として、道路情報、通行止めなどを文字放送で伝えました。ニュース番組の中では、被害情報を映像と音声で伝えました。

Lアラート（災害情報共有システム）での速報は、昨年5月よりサービスを開始、また本年6月から、南丹市ホームページに配信されている主要河川カメラの映像をライブ配信（防災チャンネル）しています。今後もこれらのサービスの広報や、災害発生時の

行動や防災について、広報番組を制作したり、有事の際には、映像や音声を活用して、被害・復旧状況などを伝えられる体制を作っていきます。

【放送施設見学の受け入れ】

児童・生徒の情報教育に関する施設見学や勤労体験学習等の受け入れ、大学インターンシップの受け入れ、小学校教職員の受け入れを行っています。

【キャラクターと地域の交流】

南丹市情報センターのマスコットキャラクター「じゅういちくん」の市内イベントへの出演依頼が多数あり、これらの行事に参加・取材して広報を行っています。また、定期的に幼稚園や保育所を訪問し、子どもとのふれあい企画を放送しています。

【自主放送番組のアーカイブズ】

自主放送番組の過去の映像は南丹市の資産であり、過去の映像を番組編集に利用する機会が増えています。これまでの既存メディアでの保管では劣化が見られることから、永年保存の取り組みと、過去の映像を用いた再放送を行っています。卒業式や成人式を迎える方への思い出の放送は大変好評です。

【その他】

各種機関、地域のビデオ制作に協力しています。